

## 1 消費動向について

### 【2020年9月】

県内の消費動向は、少人数による飲食等が増え始めたとの声や、9月の連休では GoTo トラベルをはじめとするキャンペーンの効果も相まって、賑わいが戻ってきたとの声がある。

<主な内容>

- 9月の連休頃から、餃子通りの人通りが戻っており、毎週末は非常に長蛇の列ができる。自粛期間の反動もあり、コロナ渦以前より人が多いようにも感じる。(宝石貴金属小売業) <宇都宮>
- 対前年比7%減少(8月度)。コロナ感染拡大に伴い売上は減少傾向にあるが、9月下旬になってきて徐々に客足が戻りつつある(少人数であるが)(飲食業) <足利>
- Go To トラベルの追い風もあり、大型連休の予約状況は良好であった。(旅行代理店) <栃木>
- Go To トラベルより宿泊料金の高い宿の利用客が増加。これまでの10,000~15,000円の宿の利用客が減少しており宿泊業の格差が生じている(宿泊業) <日光>

### 【2020年8月】

県内の消費動向は、テイクアウトやネットショッピングでの売上が好調との声や、少人数による飲食等が増え始めたとの声がある。また、お盆などは一部賑わいを見せた業界があつたものの、例年の繁忙期とは程遠いものとなっている。

<主な内容>

- テイクアウト事業が好調で売上に貢献している(飲食店)
- 前年売上高に届いてはいないが購入対象者を地元やテイクアウト中心としたことで収入が安定してきている(飲食業)
- 自主的に休学していた生徒が徐々に復学してきている(英会話教室)
- かぬま飲食店・お店応援事業プレミアム付き商品券の発行により、新規客が微増。(整体業)
- 宿泊・観光業は緊急事態宣言解除後の感染者増加により夏休み・お盆しいては紅葉シーズンの予約キャンセルにより収入は戻っていない。

## 2 受注動向について

### 【2020年9月】

県内企業の受注動向は、一部の業種において受注が増え始めたとの声が聞かれる。一方、受注の低迷などから在庫管理に苦慮する声や、商材の絞り込みに着手した業界の動きも見られる。

<主な内容>

- 秋口の需要も好調で受注は順調に推移。初夏ほどではないが、ガーデニング関連は良好と思われる。受注対応のために新たに生産ラインの設備投資を行った。(園芸用土製造業) <鹿沼>
- 消費者の購買意欲が低下しており、しばらくこの傾向が続くと考えている。アパレル業界では、コロナ禍による激安セールが行われているが、それでも在庫がはけるのか疑問に感じられる。(靴小売業) <宇都宮>
- 自動車各社の生産再開はされたものの車種を絞っていく方向性にあり、当社で扱う自動車部品の一部分の受注がストップする見通し(自動車部品製造業) <栃木>

### 【2020年8月】

県内企業の受注動向は、一部の業種において受注が増え始めたとの声が聞かれる。一方、GoTo をはじめとするキャンペーンの効果は具体的に出てきていないとの声が聞かれる。

<主な内容>

- 8月の来店数は前月に引き続き回復傾向にあったものの、今後の見通しについては不安定である。(飲食業)
- コロナの影響はまだあるものの、受注が継続し一時的に底を脱した状態。(金属製品製造業)
- 復旧工事等の受注量が多く、比較的安定している。(建設業)
- Go To トラベルも新型コロナウイルス再拡大により利用が少ない。(旅行代理業)

## 3 収益の動向について

### 【2020年9月】

県内企業の収益の動向は、受注減や来客の低迷により収益の悪化を訴える声が聞かれる。また、GoTo をはじめとするキャンペーンの効果は目に見えて出てきていないとの声がある。

<主な内容>

- 観光客の往来は少なく、まだコロナ禍前まで回復したとは言えない状態である。(靴小売業) <宇都宮>
- 学校関係の遠足や修学旅行が再開し、稼働率は徐々に回復しているが、春先の受注分がスライドしただけなので、収益はまだマイナス基調。(旅客バス運送業) <鹿沼>
- 夕方の来客が激減しており、コロナ対策をしても客足が鈍く厳しい状況である。(飲食業) <真岡>
- Go To キャンペーンの恩恵がほとんどなく稼働していない。(一般貸切旅客運送業) <真岡>

### 【2020年8月】

県内企業の収益の動向は、受注減少に加え原価上昇により収益が悪化しているとの声がある。また、受注減や来客の減少により収益の悪化を訴える声が聞かれる。

<主な内容>

- 葉物などの野菜が高騰していることから原価率上がり収益を圧迫している。(飲食業)
- 夕方の来客が激減しており、収益状況は過去最低の状況である。(飲食業)
- 新型コロナウイルスの影響によりお客様が戻ってくるには時間がかかる。(旅行代理店)
- お盆期間中は多くのお客様に宿泊をいただいたが、感染防止策により満室に出来ないなど、前年比で大きく収益が減少した(宿泊業)

(1) 金融機関における中小企業への貸出姿勢について(各商工会議所金融担当者等の目線)

貸出姿勢	DI 値	地銀・第二地銀		信金・信組		政府系金融機関	
		回答数	DI	回答数	DI	回答数	DI
①積極的	プラス	1	11.1	2	22.2	1	11.1
②やや積極的		4	44.4	4	44.4	6	66.7
③どちらでもない	±0	4	44.4	3	33.3	2	22.2
④やや消極的	マイナス	0	0.0	0	0.0	0	0.0
⑤消極的		0	0.0	0	0.0	0	0.0
回答会議所数		9		9		9	
DI 値【①+②-④-⑤】】		55.6		66.7		77.8	

(2) 各商工会議所における融資相談状況について(昨年同時期との比較)

相談状況	DI 値	目安	回答数	DI
①大きく増加した	プラス	(10%以上増加)	1	11.1
②やや増加した		(5%以上増加)	2	22.2
③ほぼ変化なし	±0		5	55.6
④やや減少した	マイナス	(5%以上減少)	1	11.1
⑤大きく減少した		(10%以上減少)	0	0.0
回答会議所数		9		
DI 値【①+②-④-⑤】】			22.2	

(3) 融資相談の主な内容(複数選択可)

相談内容	回答数	比率
①反復資金、経常的な運転資金	9	60.0%
②既存設備の改修・定期更新に係る設備資金	1	6.7%
③売上(受注)増に伴う増加運転資金	0	0.0%
④新規設備投資に係る資金	0	0.0%
⑤新たな市場・事業への進出に係る資金(創業資金含む)	0	0.0%
⑥その他	5	33.3%
回答総数	15	

(4) 特筆すべき相談内容

新型コロナウィルス感染症の影響による減収に伴うつなぎ運転資金

コロナ特別融資枠で資金繰りは何とかなっているが、据え置き期間終了後に、現状の売上では苦戦が予想される。(衣料品販売業)

新型コロナ対策資金の借り入れ申し込みをしても以前の営業内容によっては、借入できない事業所があります。今後、倒産や廃業に追い込まれないような金融政策をとっていただきたい。

コロナ感染対策による資金繰りの相談が多い傾向(飲食・サービス業が多い)

引き継ぎ既往債務の借換が主

コロナウィルスに伴う運転資金の相談、収束までの経費資金の申込 ※追加申込も増加している

製造業・建設業が収入減少に伴う資金繰り相談

コロナ終息が見えず追加融資の相談(観光業・宿泊業)

## 5 雇用情勢について

### 【2020年9月】

県内の雇用情勢は、9月の県全体の有効求人倍率は0.93倍（前月比-0.02、前年同月比-0.44、全国36位）となった。全国(1.03)との比較では0.1ポイント低くなっている。県内の中小企業・小規模企業からは雇用維持に苦慮する声や、コロナ禍のなかで新たな人材を求める声もあり、厳しい雇用状況にある。

#### <主な内容>

○現場監督や営業職の人材不足。大手からの離職者など一定のスキルを持った人材が欲しい。（建設業）  
<鹿沼>

○求人数の割合は、ほぼ横ばいの状況。 <真岡>

○新型コロナウイルスの影響により、雇用継続や新規雇用ができない状況である。<真岡>

○コロナ禍の中であるが、新規学生採用を求めている事業所もあり。<足利>

○雇用調整助成金の活用により、雇用継続している。（電気工事）<栃木>

○一部派遣業者で人手不足の状況<小山>

○先行きが不透明なため、短期労働者を雇用する見込み（飲食店）<大田原>

○雇用維持の為、新規事業に着手した（製造業）<大田原>

○従業員からの補償を求められる声が多く、雇用主の経済的・精神的苦悩が出てきている<日光>

○繁忙期には、学生アルバイト等を頼んでいたが、新型コロナウイルスの感染を懸念して頼むことができないところが見受けられる<日光>

### 【2020年8月】

県内の雇用情勢は、8月の県全体の有効求人倍率は0.95倍（前月比-0.02、前年同月比-0.44、全国36位）となった。全国(1.04)との比較では0.09ポイント低くなっている。県内の中小企業・小規模企業からは新型コロナウイルスの影響により継続雇用や新規採用ができないといった声が聞かれている。

#### <主な内容>

○市内百貨店では、新卒採用、中途採用、パートアルバイト等の採用を縮小・見送りにしている。また、正社員やパートアルバイト等の休業も実施している。（百貨店業）<宇都宮>

○求人数の割合は、ほぼ横ばいの状況。 <真岡>

○新型コロナウイルスの影響により、雇用継続や新規雇用ができない状況である。<真岡>

○市内企業では、新卒者、中途者を含めての人材不足が続いている状況にある。9月3日に就職ガイダンスを開催し地元企業への人材確保に努めている。<足利>

○有効求人倍率は微増であるものの、依然として雇用に対する不安は大きい（小売業）<栃木>

○一部派遣業者に関しては需要が好調である。<小山>

○求職者が多く、良い人材を確保するチャンスと捉え新規採用を検討している（飲食店・製造業）<大田原>

○従業員からの補償を求められる声が多く、雇用主の経済的・精神的苦悩が出てきている<日光>

## 6 経営上の問題点について

- 外国への渡航が禁止になっているため、外国から商品が届いておらず、注文を受けた商品を取り寄せられないことがあった。現在、クリスマスに向けて販促に動いているが、例年より用意できる品物が少ないことで、これから弊害が現れるよう感じる。（宝石貴金属小売業）＜宇都宮＞
- 新型コロナウイルス対策（第2波、第3波が懸念される）＜真岡＞
- 持続化給付金の申請がWEB申請となっているため、経営者が高齢の方が多いなどにより申請できない状態である。＜真岡＞
- 各種給付金や特別貸付により資金繰りを繋いでいるが、新型コロナウイルス感染症が収束しない限り焼け石に水の状況。＜栃木＞
- 各種商品券などの利用により手持ち現金が不足、現金仕入れのため影響がある（飲食業）＜小山＞
- 事業承継を計画していたが、コロナの影響で今引き継ぐべきか悩んでいる（飲食店）＜大田原＞
- 従業員への給与支払いが困難になる（物産業、飲食業、宿泊業）＜日光＞
- コロナ対策（飛沫感染防止等）に関する費用がかさみ今期は赤字となる見込みである（飲食・物産小売・宿泊業）＜日光＞
- 春先に借りた運転資金が底をついている（飲食・物産小売・宿泊業）＜日光＞

## 7 産業構造変化に伴う企業変化（企業、トピックなど）について ＜具体的情報＞

- 前年と比べて、今年の設備投資は規模を縮小して実施する予定（建設業）＜宇都宮＞
- 新型コロナウイルスの影響により、イベント関係は12月開催予定までのものについては、全て中止となっている。＜真岡＞
- 感染者拡大の兆しがあり、今後の産業構造の変化については、先行きが読めない状況。＜真岡＞
- 遠隔によるテレワークやホームワークの仕事が普及してきている。＜真岡＞
- これまで一社依存型の体質でも問題なく経営は回っていたが、コロナの影響が深刻化する中、一社依存型を脱するため新規事業及び設備増強を図っている（自動車部品製造業）＜栃木＞
- 持続化補助金（コロナ特別対応型）の申請件数多くあり、現状の危機感から新たな事業展開を積極的に行っている。＜栃木＞
- プレミアム付き小山市共通商品券スタート、加盟店が昨年に比べ大幅増＜小山＞
- ワークマン女子が横浜にオープン。大規模展開する見込みのため、今後地元の小売店に影響が出る可能性がある。＜小山＞
- 持続化給付金の申請（第2派）問合せが増えてきている＜日光＞
- 日光田母沢御用邸記念公園に隣接する高級温泉旅館「ふふ日光」が10/2OPEN。中禅寺のリツカールトン同様、追い風になることに期待する。＜日光＞